

歴史を学ぶ講座 新・八幡の歴史 25 回目



京都市上京区(ウィキペディアより)

前回は応仁の乱のお話がありました。八代将軍足利義政には子
がぎじんなく義政の弟で僧になっていた義尋を養子にし「義視」として

後継者に。しかし、1465 年に義政と正室・日野富子との間に義尚が生まれた。富子は守護大名に山名宗全(西軍主将)、義視は細川勝元(東軍主将)に頼ってゆく。1467 年山名宗全と細川勝元の勢力争いに対応するように全国の守護大名が西軍・東軍に参戦、ほぼ全国に争いが拡大した。このもとには各地の将軍家と守護大名、守護大名同士、各家の家督争いがある。寝返り等あって余り理解ができなかったけれど、京都が主戦場となり街は焼け野原となりひどい状態に。1477 年終結したそうだ。将軍の力は弱く、戦国時代に入。

- ① 日時 2020 年 11 月 19 日(木) 13 時 30 分～
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100 円

新・八幡の歴 25 回目です。新しくスタートしています。前のお話と違う部分も話されるそうです。

八幡まるごと館 / 八幡市男山松里 12-20

(TEL&FAX) 075-983-3664

(E-MAIL) yawata@marugotokan.net

ホームページは <http://marugotokan.net/>

又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。